省エネ マニュアル

２０１２ 冬

宇都宮大学
UTSUNOMIYA UNIVERSITY

2012.11.26　第１版

財務部施設課　　028-649-5068　/　gijyutu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
ご意見・ご要望がございましたら、ご連絡ください。

1．照明編

日常の使用について

■廊下、ピロティなど共用部の照明は間引きしましょう。

■不在時、昼休みは消灯しましょう。

■教室、研究室、教員室、事務室などの照明は、必要な照度（300ルクス）を確保して、間引き・消灯しましょう。

※財務部施設課にて照度測定器を貸し出しいたします。

日常のお手入れについて

■両端が黒くなったり、ちらつき始めた蛍光ランプは早めに交換しましょう。

明るさが落ちても消費電力は同じです。

1年に1回のお手入れについて

■年に1回程度は、照明器具本体（反射板）や蛍光ランプを拭き掃除しましょう。

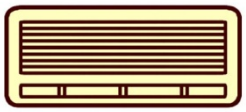
埃などの汚れがついたままだと反射率が悪くなり、明るさが1年間で約20%落ちます。

2. エアコン編

日常の使用について

■室内の温度を19度以下にしましょう。

暖房温度を1℃低めに設定すると、約10%の省エネになります。



■不在時はエアコンを止めましょう。

退出する場合は、直前ではなく、少し早めに止めると節電になります。

■カーテンやブラインドで断熱効果。

冬はカーテンやブラインドを開けて日光を取り入れると暖房効果が良くなります。
日が落ちたらカーテンやブラインドを閉めて断熱しましょう。

■扇風機を併用しましょう。

天井にたまりがちな暖気を循環させると暖房効果が良くなります。

■風向きの調節をしましょう。

エアコンのルーバーを、暖房中は下向きにすると効率が良くなります。

日常のお手入れについて

■暖房期前にフィルターを清掃しましょう。

清掃しないと暖房の効率が悪くなるばかりでなく、室内に埃をまきちらすことになり、室内環境が悪くなります。

■暖房期間中は室内機のフィルターを月に1回程度は清掃しましょう。

フィルターが目詰まりしているエアコンでは、暖房効率がさがり、無駄なエネルギーを使います。
フィルターをこまめに清掃することにより、約6%の省エネになります。
※フィルターのはずし方など、ご不明の場合は、財務部施設課までお問い合わせください。

3．OA機器編

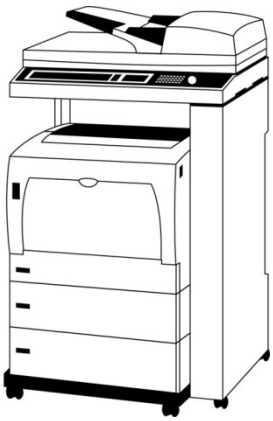
日常の使用について

■省エネモードに設定しましょう。

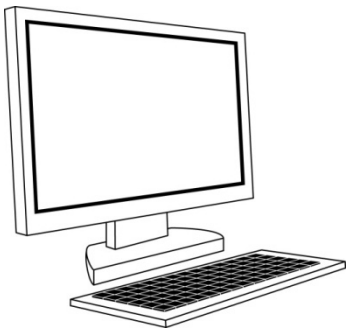
パソコン、プリンター、複写機などは待機モードや省エネモードを活用しましょう。
ディスプレイの明るさは低めに設定しましょう。

■不在時、昼休みは電源を切りましょう。

モニター、MOドライブなどの周辺機器の電源も切りましょう。



待機時設定を
「省電力機能」にすると
約 50%の節電になります



1日1時間 利用時間を短縮した場合
1台あたり約 40kWh/年間
約 800 円/年間
（デスクトップ型の場合）

「省電力機能」の設定は機種により異なりますので、取扱説明書で確認するか、
複写機のサービスカウンターにお問い合わせください。

※消費電力（W）を測定できる装置を財務部施設課にて貸し出しいたします。

一度測定し表示すると
啓発になりますよ！

4. 電気機器・設備編

便座等

■便座の暖房や温水の温度を適度に設定しましょう。

■便座のフタを閉めましょう。

「使わないときにフタを閉める」ことで
約 28%の省エネとなります。
1台あたり約 20kWh/年間
約 400 円/年間

冷蔵庫

■教育研究用以外の使用はしないようにしましょう。

■教育研究用の冷蔵庫は、できる範囲で集約化しましょう。

集約化等により減らした場合
1台あたり約 900kWh/年間
約 18,000 円/年間
（15 年前の製品、400L クラスでの試算）

エレベータ

■重い荷物を運ぶときや体調不良のとき以外は、使用しないようにしましょう。

健康のためにも階段を使いましょう。

エレベータの利用を減らした場合
1回の使用あたり約 0.025kWh
約 0.5 円

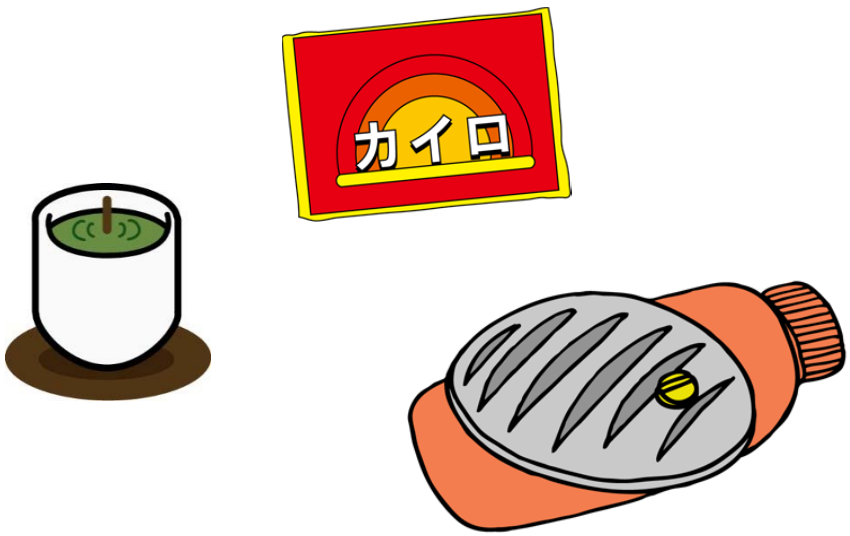
5．その他

ウォームビズ

■できる範囲で暖かく動きやすい工夫をしましょう。

執務の状況にあわせて服装に工夫をしましょう。

膝掛けを使用したり首元や足元を保温するなど、部分的に温めるだけでも体感温度に効果があります。



環境省のWARM BIZホームページに、生活の中でわたしたちができる衣食住の小さな工夫が掲載されております。

ぜひ一度ご覧ください。

WARM BIZ　　http://www.team-6.jp/try/warmbiz/index.html